



JREU TOKYO 業務部速報



2023.12.14 No.024
発行：JR東労組東京地本 業務部

東地申第5号 「埼京線の乗務員基地再編について」に関する説明申し入れ 団体交渉を行いました(その④)

6. 現在判明している職場レイアウトや、旧品川運転区庁舎の間内改良工事の進捗状況とスケジュールを、今後変更となる場合があることを前提に具体的に示すこと。

(会社回答)必要な社員周知は実施していく。なお、具体的なスケジュール等については、決まり次第周知する考えである。

(組合)レイアウトについて現段階で判明している部分や、完成するまでのスケジュール、写真などあれば示してほしい。

(会社)3階は執務エリアとして現在詰所として使用している。最終型に近い形になっているが、工事エリアで一部使えない部分があるが、そこが内勤エリアになるイメージ。2月下旬頃完成するイメージ。埼京運輸区に限らずレイアウトの情報は周知していく。3階は執務室、2階は更衣室や会議室、1階がシミュレータ、訓練室、休養室になる。

(組合)寝室はホテルタイプになるのか。

(会社)ユニットバス形式で、ホテルタイプで検討している。

(組合)1階休養室の防音性は大丈夫か。

(会社)認識している。1階の部屋の壁を壊して作り替える。

(組合)椅子の数、テーブルの数はどうか。

(会社)必要な数の設備は整備していく。

(組合)椅子の数は40脚程度か。

(会社)そうだ。プラスアルファで設置できないか考えている。輸送障害時にも対応できるように整備していく。

(組合)食事スペースはどうか。

(会社)食事スペースは共用で使用。水周りは限られる。

(組合)正規の通路はどのルートになるのか。

(会社)3階から入る社員通路があるが、ここが出退勤通路。

(組合)食事スペースの仕切りはあるか。

(会社)考えていない。ワンフロアのイメージ。トイレの数はギリギリまで検討していく。

7. 安全・安定輸送のさらなるレベルアップができる職場環境の整備について具体的に示すこと。

(会社回答)必要な設備の整備は実施していく考えである。

(組合)首都圏本部(旧東京支社)の職場だと、遅延や変行路は事務担当者が輸送総合で入力するが、大宮は違うという話を聞いた。ここはどうなるのか。

(会社)首都圏本部と大宮支社でやり方が違うのは認識している。埼京運輸区では、首都圏本部(旧東京支社)のやり方を踏襲する。乗務員の遅延や変行路は事務担当者が入力する。

(組合)事務担当者は何人置く予定か。

(会社)まだ検討中。現時点で申し上げられる状況ではない。

(組合)輸送総合システムに入力できる社員となるのか。

(会社)2項3項でも話したが、埼京運輸区発足の時点で、通常の業務運営に支障が出ないように準備、対策を考えている。

(組合)乗務員の取扱いについて、首都圏本部と大宮支社に細かいところで違いがある。フォローや教育は？

(会社)取扱い以外でも様々あると想定している。首都圏本部、大宮支社、現場ワーキング含めてしっかりフォローする。今後ライン管理となって、支社間の取扱いの違いも統一していきたい。

(組合)個人用のレターケースは設置するのか。

(会社)ワーキングで話し合っているが、今のところつかないということで話は進んでいる。